

明治其拾之年

五月廿其日寫

自由黨員 中野寅次郎君 演說 寫

北村氏

算

柳田文庫

文庫11

A1963

35

30

25

20

15

10

文庫11
A1963



萬世不易ノ大主義

自由黨員中野寅次郎君演説

私ハ愛ニ張出シテムヒマス 所ノ萬世不易ノ大主義
 ト云フ演題ニ就テ新日クノ問責詔ヲスル考デムヒマス
 此詔ハ少シク理屈ノキマシテ中頃デ或ハ諸君之
 注意屈ヲ招クカモ知レセ又保シナガラ此主義ト云フキ
 ハ政黨カ此政事社全ニ立ツテ働キマスル所ノ礎デア
 ル即チ羅針盤デアアル磁石デアアル被ノ蒸氣船ガ以テ々
 タル大洋ヲ渡ル場合ニ向テ方角ヲ定メ何ニ依テ航
 進ルカト云フナラバ被ノ蒸氣船ニ備ヘテアル所ノ磁



010190532866

右の羅針盤、方角ヲ指ス所ニ依テ彼レハ船ヲ
自在ニ運轉スルノデムヒモ今此政黨ト云フ大船ガ政
治政令ト云フ此大ナル大洋ヲ打渡ルニ其政黨ト
云フ大船ノ行クヤキ方針ヲ定メ行クヤキ方角ヲ示
スルニ極カが無ケレバナリモ此政黨ガ行クヤキ方
針ヲ定メ此政黨ガ働クヤキ土台ヲナスモノハ何デ
アルカト云フニ取モ直サズ主義ト云フモデアル今改進
黨ナリ保守黨ナリ自由黨ナリ其レ幾多ノ政社
政黨ト云フモノガアリマスガ此政社政黨ト云フモノハ
比向ノ主義ト云フ者ニ依ラレケレバナラヌ若シモ主義

ナキニ政黨アリ主義ナキニ組合ガ在ラバ其政社其
組合ハ朝ニ右タニ左ト方針ヲ定メズニテ
轉ニナリ馬ノ如ク莫ニ彼ノ浮草ヤ今日ハ向山岸ニ咲ク
ト云フト全一ノ話デ一定ノ方針ヲ定メズ風ノ向フ所
ヲ見テ帆ヲ便フト云フ政黨デムヒモ此政黨ガ力也
ヲ母身ク所ノ一定ノ方針ニ向テ運動スルト云フ事ハ
出オキヌテムヒモ(喝采)カレガ故ニ此主義ト云フモ
ノハ要テアル此黨世不易ノ黨自年経ウテモ變ラナ
ヒト云フ大主義ニ就テ確信ヲ云フ事デムヒモ(謹啓)
切テ私ノ事ヲモテモ致シモ又今テ去ル事 捨置

ケ年以前ノ事デムトモス 師子明治拾五年ノ春吾
ヲ我カ何由皆黒ノ総理坂垣伯ガ北越地方カラ
身山道ヲ回テ此政治社会ノ眠ヲ呼び起シ此
日本國民ノ世ヲヲ醒見サントシテ北越東山道ヲ巡
回セラレタ事ガムトモス此北越地方ヲ經テ東山道ヲ
回リ岐阜縣ニ回テ中教院デ開ヒタ親心親會
ニ臨ミシテ而シテ此親心親會ノ歸リガケニ圖ラ
ズ天愛知縣ノ先澤相原尚賦我ノ為ニ右ノ
胸及チ刺レタ事ガムトモス 明治拾五年ノ春中
教院ニ在リ右ノ胸及チ刺レシタ其の合坂垣伯

ハ流血淋漓ノ内ニ在テ人々ノ忙ラ怒リタル様子見
ラレタコト之レニ 向テ諸君ハ悲シキ給フナ諸君ハ此配
給フナ此坂垣ガ愛ヲ救死シテモ日本ノ自由ガ滅
ビナト云フ千古ノ名言ヲ吐カレタデモモス 嗚呼
之レハ實ニ千古ノ名言ナルアル帝ガ短ナリ一言テ
ルガ此日本ノ自由ハ滅ビナト云フ此一言ハ自
由主義ノ方世不易ノモノナル事ヲ言ヒ顯ハシ
タモノデムトモス之レ流血ハ個人主義ノ頭領自由
主義ノ開山ト云ハル、坂垣伯大ケアッテ胸板ヲ
刺レテ將ニ死ナトスル情合我ハ死ニテモ自由

主義ハ死ナシト云ハレタラハ
板垣伯カ常ニ其腦
髓ニ樹膠ヲ積ミタル自由ノ精神ガ自カラ顯ハレタル
所ノ人ニ言テムトマス(大鳴采)デ此板垣伯ノ云ハ
夕通リ自由主義ト云フモノハ板垣伯ト云フ人ガ在ッ
テ立テ居ルテハムヒヨセ又板垣伯ガ死ナレテモ自由
ト云フモノハ死ナシト云ハレタラハ又自由黨ガ今日
ノ人々ガ比自ナレテモ自由主義ト云フモノハ死又
ルモノデハ無ヒ自由黨ガナクナワラモ自由主義ト云フ
モノハ死又ルモノデハムヒヨセ又何レトナレバ自由主義ハ
ト云フモノハ人ニ依ッテアルト云フモノデアルト云フモ

ノデハムヒヨセ又何レニ依ッテ出来ルモノデハムヒヨセ又人ガ生キヨ
リガ死ウガ此自由主義ト云フモノハ天然ニアル中ノ所ノ即チ
之レが大主義デムト云フ故ニ人ガ生キヨリガ死フガ減ビヨ
フガ例レヨフガ自由主義ト云フモノニ於テハ決シテ關係小チ
ト自由主義ハ侵セト云テ此間ニ巡リ環テ居リヨ
又カラ此天アリ天地生存スル間ハ即チ此人間ガ
生キテ居ル間ハ自由主義ハ何時モ死又ルト云フコトハ
ムヒヨセ又此自由主義ト云フモノハ天地ヲ貫キ此自由主
義ト云フモノハ万世不易デ万世ニ涉リテ決シテ敬死
レナシ所ノ大主義デアルト云フ事ヲ私ニ確言致シ

スル者ヲ然ラバ自由主義ハ何時迄モ減じ又モノデ
アルトスレバ自由主義ハ如何様ナモノデアアルカ自由主
義ト云フ譯ケテ聽キタヒト云フ諸君ガムヒセウ其
クニキニ至リテハ自由主義ノ自由ト云フ名計リテ聞
テアレバ自由ト云フカラニテ自由ト云フハ朕カ手氣儘ノ
モノ朕カ手氣儘ヲスルモノデアアル自由主義ト云ハ人
ノ頭ヲゴズヒテモ自由ガ人物ヲ盜コゲモ自由ガ自分
ニタヒ事ヲ我儘ニスルガ自由ト云フモノデアアルカラ自
由主義ハ往々ナキ自由ハ我儘デアアルト云ウテ自由主
義ヲ更クイフモノモアリヌ猶甚クニ至リテハ自由

ハ即チ人間ノ自由ノ權利ヲ張ルデアアルカラニテ自
由ノ權利ヲ張ウナラバ諸君一天萬物ノ我儘
様ノ權利ガ無クナルト云フテ自由主義ヲ更ク云
者モムヒニスケレドモ此等ハ帝ガ自由ト云フ此字
ヲリテ見テ亦ダ自由ノ意義ヲ知ラナキ者デムヒニス
爰ニ是レ可竹矢ト歌ガムヒニス或ル村ノ若ヒ衆ガ
且那寺ニ參リテ社尙サント語ヲスル時ニ社尙サガ
歌ノ下ノ句ヲ讀ムニダ事ガムヒニス此ノ下ノ句頗
ル可竹矢ト語テハ初メテ聽ヒタラ櫻藪ナキ
ナ歌テムヒニスガ彼ノ社尙サニガ村ノ若ヒ衆ニ向

歌ノ下ノ句ヲ讀ムニテモフニ(スルタビ毎ニ泣ク娘カナ)
ト斯ラキフタ所カ村ノ若ヒ衆ガキフニ坊サニト
キフモノデアルニ竹園様ナ猿殿様ニ詰ラヌ
歌ヲ詰ストキフニ何故デアルカト云フテ之レヲ
詰リニシタスルト和尙サニカ物ハ然リニバガホト計
カリ聞ヒテ云フモノデハナヒ下ノ句計リヲ聞ヒテ私
チ然ラキ見ルノデハナヒ上ノ句ヲ讀ムニテ見タラバ
前方ガ涙ヲコホスニ道ニナヒト云フテ上ノ句ヲ讀ムニ
其ノ上ノ句ハ即チ(于蘭盆ノマダ新ラキ墓掃除
除)(于蘭盆ノマダ新ラキ墓掃除スルタビ毎ニ

泣ク娘カナ)斯ラキウツタスルト此大變可笑シユウ
間ハク歌ガ一變ニテ孝行娘ガ其母新墓ニ
ニ詰テ泣ク所ノ哀レナル歌ニ變化シタラバムヒマス
ワコテ村ノ若ヒ衆ガ坊サニ歌ニ非常ニ感服ヲ
シタト云フ事ガムヒマス(喝采)竹園様ナモノデ自
由主義ト云フ此字計リヲ見テ非難シタナラバ丁
度此ノ村ノ若ヒ衆ノ様ナ誤リガ出ヌマスルカラ
自由主義ノ意味ヲ能ク聞ヒテ後チニ自由主義ガ
果シテ誰ルヤキモノデアラナラバ之レヲ識レ自由主義
ニ賛成ス可キモノデアラナラバ賛成セヨ食ハク嫌ヒト云フ

事ハ但ケナヒノテムヒマス(天喝采) 諸テ此自由黨ノ
テアルカ此自由民權ト云フ 議論ハ何ウ云フ議
論テアルカ此自由民權ト云フハ何ウ云フ主義カト
云フト云テ敷云ヘバ之レハ六ヶ敷ト程屈ガムヒマス
即チ此社会折衷學上ヨリ論スレバ非常ニ六ヶ敷カ
一言ニコレヲ申シマスルナラバ民權ト云フモノハ人間ガ自
分生レタル時カラシテ天ヨリ權利ト云フモノヲ貫
ウテ生レテ来テ居ル此權利ト云フモノハ何ノ様ナ
權利デアルカ 諸君ガ即チ親ノ軀内ヨリ生レル前
カラ此權利ト云フモノヲ世具ウテ来テ居ルリウミテ

此權利ハ何ニナモノカト云フニ先ウ生命ノ權利生命ノ
權トハ命ヲ殺スルコトヲ生キテ行クト云フ諸君ノ權
夫レカラ幸福ヲ進ニテ取ルト云フ權利即チ自分
ノ幸ヲ進ニテ取ルノ權利ガアル自分ノ幸福ヲ自分
ガ進ニテ取ルト云フガ諸君ノ權利デアアル夫レカ
ラ諸君ガ安寧ノ權即チ安寧ノ權ト云フモノヒマス
安寧ノ權トハ自分モ人ノ頭ヲ叩カナヒ又々人ニモ
亞ヒ言フナサレナヒ自分體ヲ安穩ニ置クトイ
フ安カラカニ世渡リヲスルト云フ權利ガアル又々
自由ノ權トハ何ッ身軀手足目鼻に耳ノ自

由目アリテ物ヲ見自昇アツテ物ヲ嘆キ口アワテ物ヲ
自昇ヤウテ物ヲ喰ヒ或ハ物ヲ言ヒ手アリテ物ヲ取リ足
アツテ自在ニ行キ脳髓^左アツテ物ヲ考ヘ進退自
在ノ働キヲスルト云フ權利ヲ世見ツテ来テ居ルニ茲ニ
於テ若シモ是前ハ自由ニ物ヲ考ヘル事ハ出来
ズト云フテ諸君考ヘルト云フ自由ヲ殺ギ是前
ハ去来ヒテ来ル事ハ出来ヌト云フテ諸君幸
ヲ来ル權利ヲ奪ヒ是前ハ治キル事ハ出来
ヌト云フテ諸君治キテ居ル即チ命ヲ奪フ
事ガアリマシタナラバ諸君一日天安穩ニ此世渡

テスルト云フ權又々幸福ヲ来ルト云フ權利統テ之等ノモノハ諸君
是人ニ思レタモノデハ無ヒ天ガ之レヲ頌ヘタハ萬人平等
ニ之レヲ頌ヘテ居ル私ニ言フ自由ガアレバ諸君モ又々言
ハフ自由ガアル状々ニ聽^リト云フ自由ガアルナラバ同胞四
千万ノ人^民ニ此自由ヲ聞^クト云フ自由ガアル状々ニ手ヲ
勤カスト云フ自由ガアレバ四千万ノ人^民ハ此自由ヲ手ヲ勤
カスト云フ自由ガアルカラシテ上帝ニ此權利ヲ頌ヘス
ニテ一人ト頭上ニ平等ニ頌ヘテ居ル(大唱衆)スル手ヲ
振ル私自由ガ足ラ上ケルハ私自由ガ大キナ聲ヲスル
モ私自由ガアル私自由ガアルレドモ此自由ト云フモ

ハ比自テ誰モ平等ヲ持ツテ居ル故ニ若シモ一方ノ人
ノ權利ヲ害スル場合ニハ私ノ自由ト雖モ之ハスル事
ハ出来マセ又人間ト云フモノハ即チ此ノ平等ヲ權
利ガ寄り集ツテ来テ始メテ幸福ヲ全フスルノテ
アル語ヲ換テ云フバ種^レハ働キテ種々ノ人ガ集
マシテ^レ肥體ヲ以テ種々ノ人ガ集テ来テ其集ク
為シニ幸ヲ得ルト云フガ人間ノ社交的ノ性質
動物デアル何ヤナラバ私ガ一人テ家ヲ建ル事ハ
出来マセ又私ガ一人テ野ヲ摘ムト云フ事ハ出
来マセ又又織物ヲ拵ル事ハ出来マセ又又

自カ獨リテ安全ニ世渡ヲスル事ハ出来又他人ノ力
ヲ受ケテテ充分ニ生活スルト云フ事ハ出来
又ノテムヒマス^{即チ}權利ト云フモノハ平等ヲ持
ツテハ居ルガ人間ノ幸福ト云フモノハ此平等ノ
權利ヲ以テ居ル人々ガ許可リ集ツテ居ルテ
ナケレバ幸福ト云フモノハ出来ケル事ハ出来又
テムヒマス^{故ニ}我々が自由ガアルカラト云フテ大敵
ニ叫ビ他人ノ安眠ヲ妨ゲルハ之レハ他人ノ
權利ヲ害スルノテアルカラ自由黨ノ所謂
自由デハムヒマセ又又諸君ガ集ムテ居ル所テ

自由デアルカラト云ワテ足ヲ上ケテ手ヲ振り回シテ
諸君ノ頭ヲ打チ諸君ノ頭ヲ打ツタラバ打ツ
夕人ハ宜イケレドモ打ツレタ人ハ大損デムトス
大竹笑又諸君ハ女固權ヲ以テ居ルカラ人
ニ亂暴ヲサレナシ諸君家ニ盤リニ亂入サレ
ナシト云フ權利ガアルニ諸君ノ頭ヲ打チ若
モクハ亂暴ヲ爲シ諸君ノ家ニ亂入スルモ
ガ在ツタラバ之レ他人權利ヲ犯シテ自分ノ
權利ヲ張ルノデアルカラ之レ自由デアルト云フ
人ガアルカモ知ラヌケレドモ之レモ自由黨ノ云

フ自由デハムシモセ又カスレバ自由黨ノ云フ自由ハ何
ウカト云フト一言ニテ諸君ノカク義ニ申シ之如ク自
由黨ノ自由ト云フハ他人ノ自由ヲ妨ゲズニテ
自分ノ自由ヲ張ルガ自由黨ノ自由デハヒモスワ
コト自由黨ノ自由黨ノ自由ハ箇様々モテアル
カラシテ自由主義ト云フヲハ其儘勝手ヲスルモノ
デアルアレハヒケヌト云フ議論ハ自由黨ノ所謂
自由主義ト云フモノヲ知ラズニテ彼ノ下句計
リノ間ヒテ非難スルト同一デアウテ馬鹿ノ隊長
阿房ノ頭領ト評サナケレバナリモセ又(大明報)

自由黨は自由ト云フモノハ新ノ如キモノデアルカラ
之レヲ以テ自由黨ガ政事ヲスル旨向合ニハ何リ
云フ方針ニスルカト云フニ自由黨ノ此主義ヲ以テ
自由黨ガ政府ニ立リテ政事ヲスル旨向合ニハ
自由黨ハ即チ此自由ヲ人民ニ全フセシム此權
利ヲ人民ニ自由ナラシメテ守守ヲ得サシム幸福
ヲ得サシムルト云フ方針ニ向テ働クモノデムト云フ
自由ニ幸福ヲ求メ自由ニ權利ヲ求メシムルト云フ
ガ自由黨ノ主義デムト云フカラ先キニ
政府ニ立リテ政事ヲスル時方ハ人民ヲ以テ

一般ニ幸福ヲ得サシム自由ノ權利ヲ得サシム
自由ニ其幸福ヲ得サシムルガ自由黨ノ方針デム
ト云フ併シ人民銘々自由ニ働クニシムルト云フテ
人民ノ力即チ諸君ノナゲヨリ仕ナヒト云
以事ガ在リテ其ノヨリセ又事ニ向テハ政
府カラ之レヲ保護スルカレバ人民ガヨウスル事
事ハ人民ニサシテ置ヒテ人民ノヨリニナヒ
事ハ政府ノ力ヲ以テ保護スルガ自由黨ノ
自由主義人デムト云フ假バ敵國ガ日本ノ國ヲ
攻メル場合ニ諸君ガ如何ニ之ヲ妨グリ

トミテモ諸君銘々ノカデハ敵ヲ拒ク事ハ
出来コセ又宜敷之ヲ拒クハ政府ノ力ヲ以テ
ヤキバナラヌト云フガ即チ政府が彼陸軍海軍
ノ力ヲ以テ之ヲ拒グト云フガ自由黨ノ方針デ
アル夫レテ諸君能ク事ハ諸君仕カセ諸
君ヨウシニ事ハ政府カシテ保護スル假
ハバ此日本ニ於テ制衣造スルニ糸績ヲ盛ニニ
ヤキバナラヌ又又或ル事ハ盛ニニスルニ大
キ十船ヲ存テ航路ヲ擴張セキバナラヌト云フ
様ナ日本ノ之カラ先ノ大問題ニシテ人民

ノカデヨウセヌト云フモノハ政府ノ力ヲ以テ保護スル
ト云フガ自由黨ノ精神デムリス相手鳴カス
斯ク云ツタラ反對者が在リテ自由黨ヲ非難シ
テ自由黨ハイヤケナシ自由黨ハ今ノ政府ニ向リテ
是ニテ何ウキテ事ヲ云ツテ居ルカト云フニ是
迄政府ノミテヲウタ保護ハ亞心イ彼ノ郵船
社ヲ保護シ若シクハ山崎鐵道會社ヲ保
護スルノハ政府が亞心イト云ツテ居リナガラ自由
黨が保護スルト云フモノハ自由黨ノ意見ハ
難スルモノガアルカモ知レシメセヌケレドモ自由黨ハ

之ヲ保護ハ之レトシテ遠マズ前ニ日本ノ政府ガ
之ヲ保護トシテ遠マズ居ル何セナラバ今ノ政
府即チ立憲政体ノ今ノ政府デハ無ヒカ今
政府ガ専制政体ノ時分ニ於テ之ヲ保護
トシテ遠マズ居ル何セ遠マズ居ルカト云フニ是
政府ノ之ヲ保護ハ一般ノモノ假令バ生糸商
人ナラバ生糸商一般ヲ保護スルト云フモバ
之無イ航海業ナラバ一般ノ航海業ヲ保
護スルト云フデナリ即チ一般ノ仕事ノ保護
スルバテ無クシテ一部一箇ノ人ニ依リテ保護ス

辟言ハハ岩崎彌太郎トカ五代友厚トカ云フヨリナ
一部一箇ノ人ニ依テ保護スルバテアル而シテ其ノ人
之ハ何ノ人ニテアルカト云フニ薩長ノ縁故ノ
厚イ人ニテアル薩摩ノ人長州ノ人デアル
カラ之レハ保護シテヤラセバナラヌト云フ様ニ依
然偏頗ノ考ヘテ以テ保護シタモノデハハカカムイ
スニイガ薩長ノ人ノノミガ酷イ保護サレテ
ニ居ルデムト云フ唱采ノ爰ニ私ハ種々ノ事ヲ局
イタ帳面ヲ持テ居ルガ之ヲ披イテ見ルト此中
ニハ種々ノ妖怪ガ這入テ居リマス私ハ此様ナ

事ハマサカアル事デアアルイトハ思イテ新
聞ナリ又夕人ノ語ニ聞イタ事ヲ日キ留メテ
居リマス夫レノ嘘カカラヌガ政府ハ酷イ事
ヲモテ居ルデカカ本意田デアアリマスイ
嘘デアウ
カ何シナ保護ヲモテ居ルカト云フニ保護
又モテ居
ルバテスモ一ハ尤モ此世間デ評判ニ夕彼炭
礦鐵道ト云フモノデムイマス之レモ私ハマサカ
箇様ナ事ハ無カウ夕思フガ世間
ノ事ナリト北海道幌内ト云フ所ニ石炭
ノ出ル山ガアル此幌内ノ山炭ハドウカト云フ

ニ美ニ大キ仕事デアリマス幌内ノ石炭ノ出ル此
山ヲ掘リカケテカラ以テ此幌内ノ山炭ニ金
ヲ何コボ便テ居ルカト云フニ美ニ利ヲモイモ
デアウテ人カウテ居ル金額デモ其額拾九万十
四百九十九円八錢四厘ト云フモノヲ便テ居ル身
百圓拾九万四千四百九十九圓八錢四厘ト云フ
金ヲ便テ居ル事業ニ對シテ政府
ハ此事業ニ業ハ政府ノ仕事トシテ居タケレドモ
之レヲ止メテ即チ濫澤炭ト云フ彼ノ政府
ノ法用商人ト云ハル人ニ拂イ下夕夫レ何

ニボニ拂下ゲタカト云フニ財有財拾九カ山毛金
ヲ入レテ在リタ所ノモノヲ財有財拾九カ山ノ資
本ヲ入レテ在リタ所ノ炭山ヲ僅カニ拾五カ財千三百
拾八カ山ニ拂下ケテテ居ル財有財拾九カ山ヲ入レタ
ノヲタウタニ拾五カ山ニ拂下ケテ居ル政府此ノ
溢等樂一ト云フ言家高ニ拂下ケテタタノニ
船ノカ入レタ所ノ金ト拂下ケタ所ノ金ト差
引ニテ見レバ政府ノ損害ガ爰デ千ヨトカテ
居ルモバカ自九拾三カ九千百八拾四銀四厘
ト云フモノテアル(慨歎)此損害ハ誰シカスル

カト云フニ始メ入レタ金ハ以百ナ諸君ノ懐カラ出
所ノ金モテアル百生ガ粒々辛苦ニテヨウヨウ積
ニテ税ニ出シタ所ノ金モテアル比納税ヲ自亦
ノテ出来タ所ノ金モテアル此一敵カラ自亦ノ
所ノ金ヲ次員中ニ入レテ道イテ夫レカラ入テ云フ
如ク僅カニ拾五カ山ノ財有財千三百拾八カ山ノ
テアル此損害ハ比百ナ諸君ノ頭ニブツ持ツテ
居ル損害ニデムトスリ(慨歎)々々ノ教身喧し
而シテ又之レハ人カウテ居リテスガ以薩摩ノ言家
高五代友厚ト云フ人ガアル此五代友厚ト云フ

人がアル此五代友厚ト云フ迄承商ニ政府五
拾万圓ト云フ人モ多ク貸ミテ古ル無利見テ五拾
円ト云フ人モ多ク貸ミテ古ル之レハ何ニテ貸ミテ
居ルカト云フ之レハ以監業テアリテス監ノ高買ヲ
スルニ就イテ五代友厚ト云フ迄承商ニ五拾万圓
人モ多ク無利見テ貸ミタト云フ語ガアル之レハ亦
統カ嘘カ知ラナイ又夕 稜野能吉ト云フモノモ
其拾万圓ノ人モ多ク貸ミテ居ル然ウ云フ一二ノ人間
ノシニ納税ト云フ無盡監獄ノ政府ノ庫カラ其
拾萬五拾万ト云フ人モ多ク出シテ保護又オミタハテ

外ニ澤山監ノ高買人が在ウテモ是レニ保護
スル事ナシ又夕 稜野能吉ト云フモノモ
造船ガアル此ノ河崎造船所ハ何ウデアルト
チニアレモ元ハ矢張政府ノ持テタタモノデ政
府ガ持ツテ居タモノチ之レモ又夕 稜野能吉ノ人
河崎正造ト云フ人ニ構イ下ケタコトカト云
フニ河崎造船所ノ僅カニ拾八万圓デト云フ下ケ
チシテ古ル其直段ハ味ニテ拾八万圓所デアハ
ナイモワト大キナ直打ノアル造船所デアアル直
値ノアル造船所デアワタガ之レチ拾八万圓ニ松

イ下ゲタコテ河崎正造ハ之レヲ何ウモカトチ
ニ松ト下ゲテ受ルヤ否直ク他ニ賣ルツ拾八
万円デ松ト下ゲテモセテ世見ツカガ之レヲ切ニ賣
リ渡モタバテ何ニボリ利益ヲ河崎正造ハセタ
カトチテ拾八万円ニ賣ルツタモノデ五拾万円ハ
利益ヲ合ノテ賣リ渡モテナル然レバ拾八
万円ニ賣ルツタモノヲ拾八万円ニ賣ルツタ
ルニテアル帝ニガ一方ヨリ之レヲ買フテ直ク之レ
一方ニ渡ス間ガニ五拾万円ノ人モチモウケタ即
河崎正造ハ渡ルチテ粟ノ擱取リデアルケルナ

事カモ座イモスモテ見ルは是迄政府ニ保
護ノ事人々個々向ツテモ保護デアツテ即
チ特別ノ保護デアル自由黨ノ言ハ保護ハ
然レデハ無イ人民ノ力ヲ以テヨウセヌ事ヲ政
府カラ甘クノ事業ヲ保護モテヤルデアル水産
ト云ノ事業カ發達セヌナラバ水産事業小
チ保護スル生糸ノ事業カ利益ガアルトシ
タナラバ生糸ノ事業ヲ保護スル統テ箇業
ニ事業其物ニ向リテ保護スルトチテガ自
由黨ノ考ヘテアルカ是迄政府ハ人間ニ因テ

保護ヲモテアルカラ此ノ自由黨ノチフ保
護ト政府ノスル保護トハ雲泥霄壤ノ違イ
ガ在座イマス鳴采自由黨ハ人民自ラ究達
ニ得ルモノハ比自十之レチ自由ノ究達ニ任カセ
人民自ラカラカテ出来ナイ事ハ即チ之ヲ
保護トヤウト云フバデアリテ人ラ之ヲウシメ
モテスレバ自由黨ハ人民ノ出来得ヤ事
ハ之レニ任カセ人民デ出来ナイモノヲ政府デ
保護スルト云フバテ在座イマスカラ自由黨
ハ此方針ヲ以テ之レカラ先キ進ニテ行クモノ

テ在座イマスカタ詰リ自由黨ノ考ハ人間ノ自由人
間ノ安寧ノ人間ノ幸福ト云フガ政事ノ方針
デ在座イマス前途ノ目的デアルト云フ自由黨ニ於
テハ臨見語ヲモテ居ルバテ在座イマスカルガ自由黨
ノ主義ヲ約シテ云ヒマスレバ所謂自由黨ニ考ハ
國ト云フモノノ根元詰リ人間デアル政府基
ハ即チ人間デアルカラ政府ハ即チ人民ノ自由ヲ
重シビ人民ノ安寧ヲ保護シ人民ノ幸福ヲ
保護スル爲メニ置イテアルバ若シモ此社
會ニ泥奏ガアリテ人ノモチ究功ニ盜賊ト云フ

亂暴者ガアテ人ヲ會殺ス事ガ無ク此社
會ニ匪徒ト云フモノガ無イト云フ身合ニ此
政府ニ要リ用ガ無ク敵ガ日付ヲ攻メ入
ルト云フ事モ無ク又ク一ツモ臣イ事ヲエルト
云フモノガ無ク様ニ此社會ガ明開ケテ来
ラバ政府ト云フモノハ要ラナイモノトモテ
テス社會ニ臣イモノガアリ社會ノ妨害ヲ
スルモカアルモ人民ノカデハ可ク拒ク事ノ
出来ヌモノトアルカラ政府ガ要ルンテ
是若シモ人間ノ智識ガ誰レ人間ノ智

識ガ發達シテ人間ガ皆ナク利功ニナ
テ社會ニ臣イ事ヲスルモノガ無クナ
合ニ政府ト云フモノハ要ラナイトモテ
假令バ政府ノ病ヲ治ス所ノ藥
ガアル病ガ無クシバ病ヲ治ス藥ハ要
病ガアルカラ藥ガイルンテ社會ニハ
病ヲ治ス藥ヲ置イテ
此人民ノ幸福ヲ保護スル人民ノ
ヲモフスルンテ生イヌカラ病ガ無
府ト云フ藥ハ誰レ要ラヌトモテ生イ

斯ウモフモガ依自由黨ノ意見デアル此
議論ヲウツメテ云ハバ國ノ元ハ人民デアリテ
人民ハ國家ノ元デアル人民ハ國家ノ基
デアルガ故ニ此人民が富マナケレバ國家ト
云フモノモ言田マナイ人民權利が張ラナケ
レバ國家ノ權利モ張ラヌ道程デ人民
が安寧ヲ得ナケレバ日本ノ國家ハ泰平
ト云フ事ハ出来ヌ又國家ノ安寧ノ國
家ノ幸福國家ノ權利ト云フモノハ人民ノ
權利人民ノ幸福人民ノ安寧如何ニ依

リテナルモノテ是座イマスカラ國家ノ權利
ヲ盛ニナラシメント欲スレバ民權ヲ盛ニ仕ナケ
レバナラズ國家ノ幸福ヲ大ナラシメント欲ス
レバ人民ノ幸福ヲ大ナラシメント欲スレバ人民
家ノ安寧ヲ取上カラシメント欲スレバ人民
ノ安寧ヲ國ノナケレバナラヌト云フガ此自由
黨ノ考ヘテ是座イマス(大唱米)此方針ニ依
テ政黨ヲ立レバ詰リ自由黨ノ議論ハ政府ノ責
任ハ此人民ノカト丁度適當ニセズバナラヌト云フ
事ニナリマス人民爲メニ政府ト云フモノも道

テ居ルナラバ此政府費用政府ノ仕事ト云フモ
人民身代上適當セ子バナラヌモガテアル人
ガ百円身代ガアルナラバ政府其百円身代
ニ相當ニタマフナラバ又政府ハ人民ノ
身代ニ相應ニタマフ費用ヲ使フカ至適當デア
ル(現采)丁度彼ノ富士山ノ如クニアラ子バナラヌ
又山ノ詩ニ白扇倒懸心東海天ト云フ詩ガ
アル白扇倒懸心東海天ハ丁度扇ノ倒サ
コナツク様ナ山デア
ル日本ノ富士山ハ此通
リテ此富士山ノ麓ハ御美知ノ通リ三國

ニ秋ヲツテ居リ三國ガ麓ガコナツテ居テ麓ガ
開イテ頂ガ小イ故ニ千秋万古屹然ト云テ
崩レルト云フ事ハ連座イニセヌ日本ノ國モ
此ノ通リテ麓ハ所謂ル此人民テ頂ガ則
チ政府デア
ル然ラバ人民ノ力ハ富士
山ノ麓ノ如ク甚ダ大キアラ子バナラヌ果シ
テ然ラバ人民ノ力ト云フモノハ充分ニ把ヤミテ
於テ上ノ政府ハ充分に費ヲ削減スルカ至
適當デア
ル(現采)則チ下程大キク廣クシテ
上程小キク勅略シテ行キタナラバ日本ノ國ト云

フモハ彼ノ富士山ノ峰ノ地ク千秋万古
シルト云々思ハ無イハテ連座イラス
若モ之レが一變ニテ富士山ヲ倒レルニ遺イ
ハナイ彼ノ大文字屋ノ補助トナルト日本
國家ハ安寧ニ保ツ事ハ出来ナイノ
テ連座イラス大喝采天レカラ少シ詔長
ウナリマスケレ共議論物カトミテ速バナラフガ
日本國ハ然ウ云々富士山の日本デアルカ日本
社會ハ福利的社會デアルカ日本政府
ノ費用ハ日本ニ這入ル所ノ金額ト較ハト上ニ控テ

真珠堂板

政府ノ仕事ト日本ノ身代ト權衡ハ何デアルカ
トモ申サレセ又之ハ私ガ統計表ニ掲ゲテアル
依ツテ是詔ヲスルハ日本國ノ福利的デアるか
日本ノ社會ハ富士山ノ峰デアルカ諸表
ノ批判新治其方テムヒニス 抑テ此日本ノ國、政
府之費用ハ何レ丈ケ要ルカ私ハ爰ニ更保
利加ト英吉利ト二ノ國ニ比較シテ其他
ハ諸君ノ批判新ニ新ハヨウト思ヒマス
米利加ト云々國ハ妻妻知ノ通り大キナ國テ
アル日本ノ國ヲ三拾持ツテ行カナケレハ更保利

三十一

加エ、及バヌデアルガ此日本ノ國ヲ三拾寺テ
行カ子バナラヌ亞米利加ノ國ハ金ガ何コボ言
入ルカト云フニ亞米利加ノ生産物ト云フモノヲ金
銀ニ直シテ皆井用致シスルト亞米利加ガ井員ニ
五拾三億六千九百一拾六万七千七百六圓即チ
五拾三億六千万圓デアル夫レテ此亞米利加
ノ政費ハ何コボカト云フニ五拾三億万圓ニ對シ
米國政府ハ何コボ假フテ居ルカト云フニ三億
百則拾壹万圓假フテ居ル夫レカラ英吉利ハ
何カト云フト英吉利ノ本國ト云フモノハ少リ

真珠堂板

内山リ外ケレドモ本國以外ニ屬地ガ澤山
有座イマス此屬地モ一切合セテ笑用スルト英吉利
ノ金デ拾五億名銀千万圓カ日本ノ金ニ直ホスト
五拾六億万圓英吉利ニ這入ルバテ座イマス
之レニ英吉利ノ政府ハ終成ラノモテ假フテ居ル
カト云フニ四億四千八百六拾万圓假フテ居ル五拾
六億ニ對シ四億万圓假フテ居ル而シテ成ガ
日大ハ如何デ座イマスカ日本ノ成ニ於テ日本
ノ情カナ統計學者ガ凡モ臆法ヲ病ニテ
皆井用ハコテ居リマスケレドモ未ダ精確ナ事ハ

三

カラナイノデモガ或ル雜誌ニ居イテアル所ニ依ッテ
日本ノ生産額ヲ見レバ諸君莫ニ悲心ニイ哉
此重利加英吉利ニ較バテ見ルト日本ノ生
産物ヲ金額ニ積ルト諸君莫見コ之ノ涙ナリ
僅カニ億方圓デアル而シテ此ノ三億方圓就
イテ政府ハ何レモケ費用ヲ使フテ居ルカト
云フニ此三億方圓ノ金ガ年々心々這入ルトモ
夕所テ政府ノ費用ハ之ニ對スルハ八千万圓デアル
之ヲ分リ易ク算用致シスルト亞米利加ノ五拾
三億ニ對スル三億方圓ト云フ費用ノ比例ニ

真珠堂板

コレテ見ユスレバ丁度亞米利加ノ國ハ百圓
這入レバ日本國四拾七圓大ケ使フ割合デ産
リヌ又々英吉利ノ國ハ百圓這入ルモノニ就イテ
政府ガ使フハ其内五拾五圓デ産イコス而シテ
此日本ハ百圓這入ルト政府ノ費用ハ拾圓
五拾圓ノ割合デ産イコス(大笑)ソウシテ見レバ
彼レ亞米利加ニ較バ英吉利ニ較バ日本ノ國
ノ這入ル金カラ少クテ見ユスレバ日本ノ國ノ果シ
テ富田士山狀ノ國デ産イマセリカ又々補助
的ノ國デ産イマセリカフコハ諸君莫判新仕

三十一

セラス現采シテ免モ角モ自由黨ノ方針ヨリスレバ
出テ来得ル丈ケハ民ノカヲ養テ此國ノ民ヲ富
シテ此國ヲ信用シ此國ノ民ノ權利ヲ張リテ
此國ノ權利ヲ張リ此國ノ民之安寧ヲ令
ニテ此國ノ安寧ヲ令王ヲスルノテ是座イハス徒ラニ
海軍ヲ擴張セズバオウ又陸軍ヲ擴張セズバ
ナラヌト云フ事ハハコナイ事ナリ陸軍モ海軍
モ必要デアル必要デハアルケレドモ先ウ此日
本ノ國ニカガ無キレバ然ラリ出テ来ヌノデア
ル民ノカガナケレバ然ラリ海軍艦が在ウテモ

真珠堂板

ニ立タヌ又ツヨシヨ自衛ノ陸兵が在ウテ人
民ニ戰ノ所ノガ無キレバ自カノ兵隊ハ自ナ
敗北ニ歸ルルテ是座イハス民ノカガ在ウテ
ヨリ陸海軍が勸ヲスルノテ是座イハス海軍
擴張陸軍擴張共ニ必要デハ是座イ
ハスガ先ウ此民カノ休養此民カノ培養
ヲ圖ラズバナリセヌ自由黨ノ方針ヲ以テ進
テ行キタナラバ一方ニ於テハ出テ来得ル丈ケハ政
内ニテ要ラヌ其用ヲハツリ以テ人民ノカヲ養
イ一方ニ於テハ必要ノ費用ヲ簡略ニシ其カ

三

今ヲ以テ日本ノ工業第一等國トシテ之レカラス
此國ヲ以テ千百年ノ後トシテ彌々安泰
ナラシムルト云フノテ實ニ此自由主義ノ自由
ノ主義ニ依リテ政事ヲスルハ權ニ據ル
座イマス自由主義ハ此個人主義ヲ以テ政事
ヲスルハテ實ニ庶民ノ力ヲ養育フト云フカ
即チ國ノ力ヲ養育フ所ナアル故ニ滿堂ノ諸
君ニテ若シモ此自由主義ガ宜ニシイト云フ
ナラバ莫リテ自由主義ノ爲メニ力ヲ尽サレム
事ヲ希望致シマス私ハ信ズル此自由主

直珠堂板

義ニアラズニ日本ノ皇室ヲ千百年ノ後迄モ
其安泰ニ安んじ奉ル事ハ出スルナリ此自
由主義ニアラズニ日本ノ國家ヲ安全ニ
維持スル事ハ出スルナリ此自由主義ニアラズ
ニ此日本同胞四千万人民ノ幸福ヲ増進
スル事ハ出スルナリト信ズルガ故ニ爰ニ
世不易ノ大主義ト云フ題デ一書ノ演説
ヲ試ミ夕世ニテ其聲ヲ聞カシム

三下

Handwritten text in a vertical column within a blue-lined border. The text is written in a cursive script, likely a form of Chinese or a related East Asian script. The characters are densely packed and difficult to decipher precisely due to the cursive style and fading. The text appears to be organized into several lines, with some characters possibly being larger or more prominent than others, suggesting a structured format like a list or a specific type of record.



Small vertical text or a stamp located at the bottom left corner of the page, below the main body of text.